

福島第一原子力発電所 土壌中の Pu 測定結果

1. 測定結果

(単位 : Bq/kg・乾土)

採取場所 ()は1,2号機スタックからの距離	採取日 分析機関	Pu-238	Pu-239, Pu-240
①グラウンド(西北西約500m)	5月9日	$(1.1 \pm 0.11) \times 10^{-1}$	$(4.1 \pm 0.64) \times 10^{-2}$
②野島の森(西約500m)	日本分析 センター	N. D.	N. D.
③産廃処分場近傍(南南西約500m)		$(6.5 \pm 0.82) \times 10^{-2}$	$(3.0 \pm 0.53) \times 10^{-2}$
①グラウンド(西北西約500m)	5月12日 JAEA	$(1.1 \pm 0.22) \times 10^{-1}$	N. D.
②野島の森(西約500m)		N. D.	N. D.
③産廃処分場近傍(南南西約500m)		N. D.	N. D.
国内の土壌※		N. D. $\sim 1.5 \times 10^{-1}$	N. D. ~ 4.5

※ : 文部科学省「環境放射線データベース」昭和53年～平成20年

2. 評価

5月9日ならびに5月12日に検出されたPu-238とPu-239、240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

なお、グラウンドならびに産廃処分場においては、3/21以降にサンプリングした試料からPu-238およびPu-239、Pu-240が検出されているが、値に大きな変化は見られていない。

以 上